

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input type="checkbox"/>	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
<input type="checkbox"/>	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
<input type="checkbox"/>	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		地域自治会の方々には、再度広報活動をしていきたい。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/>	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		外出支援の時は、車だけではなく車イスや徒歩で出掛けてもっと近隣の方々と挨拶する機会を増やしたい。
<input type="checkbox"/>	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>			<p>地域の方々が、気軽に立ち寄れるような空間づくりを考えて行きたい。そして少しずつ定着していければ相談等に対応していきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の外部評価の結果をミーティング等で報告して職員一人ひとりに意識および認識していただきながら一つひとつ改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>推進会議において貴重なご意見や地域の情報を昨年同様にいただいている。地域の代表の方には、毎回貴重なご意見をいただき公民間活動や作品展示等についての情報を基に外出計画を立案していきたいと思っている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>昨年同様に大田原市介護サービス事業所連絡協議会に出席している。その際に日頃のサービスに関する質問等に丁寧にご指導いただいたり新しい情報に直ぐに連絡をいただいている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>施設内研修で権利擁護について勉強して資質の向上に努めている。</p>		<p>事例を基にした勉強会を開催したい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内研修で虐待防止について勉強して資質の向上に努めている。</p>		<p>事例を基にした勉強会を開催したい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>昨年同様に契約を締結する場合には、施設長・管理者・介護支援専門員から具体的に説明しその都度、疑問・不安な点にお答えしている。そのため十分な理解・納得をしていただき契約をしていただいている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常日頃の暮らしの中で利用者の意見等が、出せるように気を配り出た場合に職員は、誠意ある対応に努め速やかに管理者へ報告する体制をとっている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>必要に応じて日常的な必要な物品や健康状態の変化がある場合は、介護支援専門員が中心となり連絡を行っている。また、定期的な報告として1ヶ月に1回最新の写真入りで、個々の様子をお知らせする為に職員からのコメント付きのお手紙をご家族様に差し上げている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>今のところは、いただいていない。</p>	<p>苦情の窓口を設けご家族様からの苦情・不満をいただくようになっているが、今のところは、いただいていない。もし、頂いた場合は改善に向けて管理者・介護支援専門員・職員が話し合いを重ねて改善しようと思っている。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の定例ミーティングの時に職員1人ひとりから意見を聴く機会を設けて積極的に意見を取り入れようとしている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>シフト表を作る時に余裕をもたして状況の変化に対応できるように工夫している。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>当施設は、利用者担当制をしていませんので職員の異動・離職で利用者へのダメージは、ありません。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている</p>	<p>認知症実践者研修や認知症に対する講演会や勉強会に参加を勧めている。また、それ以外にも市内の他グループホームを見学して良い点を取り入れようとしている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>職員が、順次市内のグループホームに見学して互いに情報交換の交流をしている。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員とのコミュニケーションを多くしている。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>出来るだけ研修には、出席していただきながらも認知症実践者研修など順次参加できるように勧めている。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている</p>	<p>出来るだけ相談しやすい雰囲気を作るよう明るい笑顔を心がけている。そして、ゆったり落ち着いた気持ちで相談時の座る椅子の配置も考え本人が話しやすいように努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている</p>	<p>契約に至るまでの過程を大切に、できるだけ詳しく実際の状況や提供できるサービスについてお話をしておくよう努めている。そして、状況を理解された上でご利用いただけるようにすることが、信頼関係を構築するのに重要と考えている。</p>	

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族がどんなニーズを求めているのかよく見極めた上で、その意向に添える支援ができるかじっくりとお話を伺いつつ対応するよう心がけている。常に幅広い知識と情報の把握に努め総合的により良い方向への支援を目指している。</p>		<p>真のニーズを捉えることに対して何が本人にとって望ましいのかを考えて支援を心掛けたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご本人様の入居への不安等が、ある場合にはご家族様の協力をいただいたり馴染みの職員とお話をしたり馴染みの場所へ行くなどして少しずつ馴染んでいただく。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ご利用者様に食事の準備を手伝っていただいたり、助けていただいたり、作り方を教えていただいたり等共に暮らす者として自然と一緒にされている。また、他利用者が体調不良時等一緒に心配してくれたり余生へのアドバイス等してくれたり本当に家族的な面が、見られ共に過ごす良い関係が築かれていると感じている。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居者の様子を定期的にお知らせしたり健康状態や薬の管理などについてまめに連絡を取っている。敬老会には、家族に案内状を出し参加していただき一緒に楽しい祝会をしたりしています。正月には、全員新しい靴下の持参を家族にお願いして元旦の朝にはいて頂きました。病院受診等は基本的に家族対応でお願いしている。</p>		<p>職員は、家族に話ができる関係を心掛けている。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>毎月定期的に写真入りで入居者の様子をお知らせしている。最新の様子を分かって違いに来ていただけるよう考えている。お支払い等についてもこちらに来ていただき、その際に違っていただくようにしている。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>出来るだけ近所の方や入居者のお知り合いの方には、違いに来ていただきたいと考えている。散歩は、近所の馴染みのお寺や店などに出掛けたりしている。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>入居者同士の関係は、お部屋を訪ねてお話をしたり食堂でよく話をしたりと仲良く穏やかに過ごす姿が、見受けられる。ソファーでの寛ぎが、お互い親しく良い雰囲気が、かもしだされるように思える。一方充分コミュニケーションの取りにくい方には、写真や雑誌・新聞広告など職員と一緒に楽しむと利用者同士も話が、はずんで和気あいあいの良い雰囲気が見られている。</p>		<p>食堂のテーブルの大きさや配置を現在検討中である。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らない付き合いを大切にしている</p>	<p>病気の為入院され退居された場合もその後の、支援の相談に応じている。退院後在宅での暮らしを希望されたので家族への介護支援として小規模多機能型居宅介護施設や福祉用具などの相談にのり継続的な関わり付き合いを大切にしている。</p>	
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1.一人ひとりの把握</p>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常的には、職員が入居者の思いや好み、どんなことを喜ばれ居心地よく感じておられるか日常生活の中で把握している。また、些細な変化・表情・仕草を見逃さないよう観察・見守りを大切にしている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>契約に至るまでにこれまでの生活・暮らしぶりなど多くの状況の把握に努めている。出来るだけその人の暮らしを大事にしつつ馴染みの調度品・日用品・本・写真などを持って来ていただきこれまでの環境に近い状況の中でその人らしく生活していただくよう努めている。</p>	<p>ご家族との会話を通じて1人ひとりの情報を取るように心がけている。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>これまでの生活・家族関係を把握するとともに大切に継続できるようにあらゆる知恵を出し合う。また、地域の行事などの情報も大変有用に考えている。例えば、主婦としての食事作りの手伝い、夕方の戸閉まり。また、朝方不機嫌がちな入居者へ起床や食事の配慮などを行っている。</p>	<p>ご本人との会話と観察を通じて気づきに努めている。</p>
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>計画作成担当者が、アセスメント・モニタリングを行い出来るだけ家族も出席しサービス担当者会議を開催している。そして、本人・家族の思いや意向に寄り添いつつ支援したいとの考えで介護計画を作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、6ヶ月毎に見直しを実施しているが見直し以前に対応できない変化が生じた場合には、その都度対応するようにし本人・家族からの意向思いを聞きながら現状に応じた介護計画作成を大事にしている。</p>	

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日個別記録を記入し入居者の状況把握に努めている。また、状況の変化について観察・対処方法などを職員間の申し送りにより共通認識で対応している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居に際して不安が強い場合は、家族と相談・協力のもと外泊が出来るよう柔軟な支援をしている。帰宅願望のある入居者を自宅まで職員が、連れて行ってあげたり、買物や美容院など要望に沿った支援をしている。</p>		<p>併設の小規模多機能型居宅介護施設との連携を図っている。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>新舞踊・オカリナ演奏などの地域のボランティアさんに来ていただいたりしている。また、民生委員さんが時々様子を見に来て下さったりもし地域の情報など交流もある。近くのほほえみセンターや地域包括支援センターとも連携を深めたいと考えている。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>			
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターには、困難事例をはじめプラン作りのアドバイス等よく相談にのっていただいている。権利擁護などについても相談し知識を深めたいと考えている。</p>		
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>基礎疾患のある入居者全員が、かかりつけ医をもち、基本的には家族の介助で受診している。受診に対して看護師は、入居者の状態を家族に口頭で伝えたり、また、主治医に電話や手紙(家族に渡す)を持たせたりしている。受診後は、主治医から結果を報告時に直接主治医に会って聞くことあり。かかりつけ医と連携して入居者が認知症の適切な治療を受ける事が、できるよう専門医受診を勧めることもある。</p>		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>地域でも信頼されている認知症専門医のいる医療機関への受診を勧め良い診断・治療を受けている。入居者の状態も落ち着き穏やかに過ごされてきている。日常の状態を観察・把握し医師とも連携を取りながら信頼関係を築いている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>介護支援専門員が、看護師の資格を有するので相談に応じていただいている。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院した場合は、医療機関へは必要に応じ面会に出かけ家族の相談にのったり、皆が回復して帰って来ることを待っていることを伝え安心して療養生活が、送れるようにしている。また、病院スタッフとも相談しながら適切な時期に退院に向けて受け入れられるようにしている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に事業所のサービス提供範囲を提示し方針を共有に努めている。そのうえで入居者一人ひとりが安心して過ごされるよう日々の健康管理や急変時の対応について誠実に正しい信頼されるよう努めたい。</p>		<p>まだ、事例が無いので取り組める範囲を検討課題としている。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>当事業所のサービス提供範囲を入居にあたって明らかに提示し出来るだけ良い方向で対応できるよう努めることもお知らせしている。また、医療機関との連携の重要性を日々認識しつつ支援している。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>当事業所では、まだ事例がありません。</p>		<p>利用者が、別の居所へ移る場合は十分に施設長・管理者・介護支援専門員・家族で話し合いをもち本人のダメージを最小限に抑えたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者一人ひとりのプライドやプライバシーを大切にするために名字で言葉掛けをしたトイレへの言葉掛けは、本人の耳元で確認をしたり独自のサインを見落とさないようにしながら、排泄時には、その人に合った対応をしている。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者とのコミュニケーションに努めた上で入居者本人の思いを会話や観察からくみ取っていくことで本人が、決められる事ならば決めていただいている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者一人ひとりの生活歴に配慮しながら就寝・起床を緩やかにしたり各人が、希望を出せるように、あるいはくみ取れる様にしている。</p>	<p>入居者一人ひとりに言葉掛けを行い表情などをかくにんして各自に合った物を用意し実行するが、無理には行わない。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>女性入居者にマニキュアを塗ったところ、とても嬉しそうなお表情を見せておりました。また、入居以前から通っている美容院にも時々出掛けています。男性入居者は、2ヶ月に1度お気に入りの散髪屋に出掛けています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事を楽しむということで調理の一部(皮むきなど)や食事の配膳・下膳・洗浄・拭き上げを手伝っていただいています。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>15時のおやつ時に好きな飲み物を聴いて出したり随時飲みたい時に入居者に尋ねた上で出している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者一人ひとりの水分摂取表・食事量・排泄表が、あるので参考にしながら時間を見ながら、本人のサインを見ながらスムーズに支援出来ている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	昼浴を原則として2～3日おきにマンツーマンでゆっくり・のんびり入浴されている。		何人かの入居者から、夜間浴を希望されているが、職員配置の検討中だが、夜間良眠の為に実行していきたい。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	足が冷たくて眠れない訴えのある入居者の方には、湯たんぽや居室の温度を各人に合わせたり室内照明も合わせて入眠していただく。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器洗浄や食器拭き上げ・洗濯物干しや洗濯物たたみや習字や塗り絵が、好きな方など色々な役割を担っている。		今後は、食材の買出しを職員と一緒に掛ける予定です。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者ご本人の誕生日を利用してお小遣いをもって一緒に買い物に出かけ始めました。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気良好で穏やかな日には、1階の中庭を散歩したり近隣の寺社や併設の小規模多機能型居宅介護施設に出掛けています。また、家族と共に外食や買い物に出掛けています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している			今後は、入居者の希望に極力添えられるように気軽に外出が、出来るように考えて行きたい。また、地域の行事(季節行事など)にも積極的に出掛けたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の皆様に個々の家族(兄弟姉妹)や親しい方へ年賀状を書きました。		もう少し手紙などのやり取りができるように取り組んでいきたい。今後は、毎年季節に合わせた(年賀状・暑中お見舞いなど)ハガキなどから始めたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や知人が気軽に訪問して入居者本人が、楽しい時間が過ごせるように日々の様子を助言したりしている。また、時には愛犬が訪問し本人以外でも楽しい時間を過ごしました。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる			「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」に対して再度理解と確認をしていきたい。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			出入口が、2か所あるのでエレベーターを常時使用できるようにしておきたい。尚、エレベーターの乗車スペースは1階に停めておく。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、日勤者が言葉を掛け合いながら入居者の所在をさりげなく確認している。夜間は、本人了解のもとで常夜灯を点けたり些細な物音にも気配りしながら対応している。		夜間に入居者の排泄が、重なり危険を伴うので少しでも待つことのできる方々に言葉かけしながら安全と安心を心掛けていきたい。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	管理の必要な薬品・消毒薬等は、入居者の手の届かない場所や施錠可能な場所で保管する。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	普通救急救命講習 及び を受講したり申し送り等で職員同士で気づいた点を話し合い事故防止に努めている。		定期的な普通救急救命講習を受講したい。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルを参考に看護師や管理者が中心となり研修をしていくように心がけている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消防訓練を行い消防署職員のご指導のもと消火器の使用方法や避難時の注意点や避難方法を学んだり普通救急救命講習も受講して職員の心構えを向上するように取り組んでいる。		再度地域の方々に協力していただけるように当施設の状況を説明して今後の災害対策を再検討していきたい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	契約時にも考えられるリスクについて触れていますが、年齢を重ねるごとにリスクが、大きくなるのでできるだけ早い時期にご家族様と十分な話し合いをしていくように心がけている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックや顔色等の体調変化を早急に確認し対応に努めている。また、個々のバイタルチェックを管理して必要に応じて家族へ連絡し病院受診をお願いしている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の内訳や食後の服薬時には、ダブルチェックを基本としている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	入居者の状態を考えた上で水分補給や食物繊維を多く含んだ物や乳製品を食べていただいたり軽い運動をしている。それでも、便秘が継続するようであれば、受診も考えている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを実施していただいている。義歯の方には、本人に汚れを落としていただきながらも時々職員が、確認をしている。義歯が、安定しない方には義歯安定剤も使用している。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりの食事摂取表やバイタル表を見ながら体調変化に合わせた食事量や形態や水分補給に努めている。また、看護師にも状況を報告して助言をいただいている。</p>		
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症に対するマニュアルを参考にしたり看護師から研修を通じて学んだりしています。また、職員が、外部から絶対持ち込まないように、出入りに消毒を置いて手指消毒と手洗いの徹底をしています。</p>		
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>まな板、台布巾の消毒や食器類なども消毒を継続している。食材についても新鮮なものは、1日も早く調理して温かく食べるもの冷たくして食べるものを適温で食べていただいている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>				
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関外部にはスロープが、あり車いすの方でも安心である。玄関には、季節を感じられるような生け花が職員の気遣いで置いてある。また、玄関の床面が御影石なので全面に滑り止めマットを敷き対応しています。</p>		<p>来客用の駐車スペースの確保を後々検討したい。</p>
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂フロアの壁を利用して季節ものの折り紙を掲示したりテーブルの上に季節の花を飾ったりもしている。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者の皆さんには、それぞれお気に入りの場所が、ありますのでそこで休息をしながら談笑を楽しんでおります。</p>		<p>フロアで過ごす際にも食事の机の配置をいろいろ変えながらくつろげる場所も同時に検討していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご利用者様の慣れ親しんだタンスや寝具類をお持ちくださるようお願いしている。また、随時家族の協力のもと興味のあるものや目を和ませるものなどを部屋に置いて個々を和ませる部屋作りをしたり、誕生日のプレゼントも部屋に飾っている。		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	掃除をする際に定期的な換気を行い温度調節も入居者に尋ねながら調整をしている。また、乾燥防止に加湿器の利用もしている。そのうえ、時々お香を焚いて気分転換もしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者が、過ごしている居室やトイレの床は硬いので転倒等に充分気配りをしている。また、居室入口やトイレの入り口がフラットなので出入りが容易なので安心だが安全面に気配りをしている。		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している			入居者の個々の生活歴から得意分野を引き出して日常生活の中に取り入れて実行していきたい。
87 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダが無いので中庭を利用したり発砲スチロールなどを利用して野菜を栽培して収穫を楽しみました(きゅうり・ミニトマト)。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用されている方々と日々楽しく寄り添いながら温かい言葉をかけて安心と安全を職員一丸となって過ごしております。